



茨城ワイズメンズクラブ

2020年度-2021年度

2月報 Vo 1.150

強調月間テーマ

TOF

THE Y'S MEN'S CLUB OF

IBARAKI

CHARTERED 2006



国際会長主題.....「命の川を信じよう」  
 アジア太平洋地域会長主題.....「変化をもたらそう」  
 東日本区理事主題.....「変化をたのしもう！」  
 関東東部部長方針.....「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」  
 茨城ワイズ会長主題.....「楽しくやれる方法を考えよう」

<2月例会プログラム>

と き:2021年2月12日(金)

19:00~21:00

と ころ:オンライン開催(zoom)

司 会:熊谷 光彦

開会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

ワイズソング:

ワイズ信条:

- 1、自分を愛するように  
隣人(りんじん)を愛そう
- 1、青少年のために YMCA に尽くそう
- 1、世界的視野をもって  
国際親善をはかろう
- 1、義務を果たしてこそ  
権利が生ずることをさとろう
- 1、会合には出席第一  
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・食前感謝:

卓 話:片山 啓

「赤い大地の冒険

～エアーズロックの思い出～」

ハッピーバースデー&

おめでとう結婚記念日:

スマイル:

茨城YMCA報告:大澤 篤人

閉会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

★巻頭言★「エアーズロックの思い出」

片山 啓

学生時代はサイクリング部に所属し、自転車で日本各地を走った。クラブだけでは物足らず、一人で厳しいコースを走破した。山に行けば、自転車を担いで登った。富士山も頂上まで自転車を担いで登り、ブルドーザー道を押して降りたりもした。しかし、国内では物足らなくなり、もっと人がいない場所を走りたい、命の危機を感じられるような冒険を求めていた。今から40年程昔の話である。

そこで目を付けたのがオーストラリアのグレートビクトリア砂漠だった。あそこには人がいない、冒険ができると思った。3年生になる前の春休みで、1か月以上の時間があった。

自転車は、国内で使っていたものを輪行袋に詰めて空港に向かった。テントやキャンプ用品で荷物が多く、エクセスだけで40万円以上となった。やむなく自転車は空港から自宅に送り返し、飛行機に乗った。

シドニー郊外の街でホームステイを2週間、この間にPADIのゴールドライセンスを取り、乗馬やスカイダイビングを楽しんだ。その後、シドニーから。アデレード、メルボルンと移動し、ここで自転車と大量の食糧、そして10L分の水タンクを購入した。メルボルンからパース行の長距離夜行列車に乗り、途中ウーメラという駅で下車をして、そこからエアーズロックまでのグレートビクトリア砂漠を1週間で約1,200km単独で走破する計画であった。

夜間に到着予定であったので、着いたら車掌に起こしてくれるように頼み、ウーメラ駅に到着。ただ、駅といってもホームもなく、列車から低い地面に降りた。明かりは1本の裸電球のみで、辺りは真っ暗で本当に何も見えない。遠ざかる列車の姿を見ながら急に不安になってきた。しかたがないので、朝が来るまでその場で待った。少しずつ明るくなると、周りが見えてきたが、家が一軒のみで、他に何も無い。低い木と真っ赤な台

☆今月の聖句☆

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたに望んでおられることです。

テサロニケの信徒への手紙(1)

5章 16～18節

地だけで、道路もない。どちらに向かえば良いの  
か見当もつかず、途方に暮れた。

すると、1台の車が走っているのが見えたので、  
そちらの方向に向かい、車のタイヤの跡を道だと  
信じ走った。少し走ると舗装された道が見つかり、  
少し安心した。しかし、次の街までは約 250 km 以  
上である。道中は、低い木と赤い大地だけで、風  
が強かった。それでも、道があるだけでうれしか  
った。温度は 40 度を超え、すぐに水を飲みたくな  
るが、日影がない。自転車を立てかける物もない  
ので、道から外れて木陰で水をと考えていると、  
大量の大きいハエが私の目や口に群がる。彼らは、  
食べ物より私の生の部分を求めているようだっ  
た。野生のハエである。ハエを払いながら水を飲  
んでいて、気が付いたら、タンクの水の中にもハ  
エが入っていた。しかし、貴重な水で捨てること  
はできない。ハエを飲まないように水を飲む。そ  
の間にも顔の周りにはハエが群がる。そうしてい  
る間に、足がかゆくなった。見ると、大量の巨大  
なアリが足を上っていて半ズボンの私の足が黒ず  
んでいた。卒倒しそうになった。

暑い日差しの赤い大地の上で一人、大騒ぎをしな  
がら 1 日目の冒険が始まった。

(このつづきは例会で)

## 【茨城クラブ 1 月例会報告】

1 月例会は、zoom を用いたオンライン開催となり  
ました。新年ということで、各人から年末年始の近況  
報告と今年の抱負を述べ合い、雑談を重ねました。

熊谷ワイズ:

昨年末に義母が召され大晦日に告別式を行った。つ  
い半年前までは元気だった義母の様子から、筋肉が  
いかに大事かを実感・確信した。今年も去年に引き続  
きスクワット毎日 300 回を続け、筋肉を鍛える年に  
したい。

柳瀬ワイズ:

静かな年末年始を過ごした。テニスや足踏みなど運  
動を続けて元気な今の状態を持続していきたい。

片山ワイズ:

娘の成人式は中止になったが、友だち同士で集まり  
楽しんだようだ。今年は、仕事での研究成果を発表に  
つなげたい。またランニングを継続したい。

村田ワイズ:

数年ぶりに実家に帰省せず年末年始を過ごした。今  
年は、世の中の流れに沿って、YMCA に大して副業  
でなにがお手伝いできるか、数年後を見据えてスタ  
ートする年になればと思う。また、同世代を副業で巻  
き込めれば・・・。

稲本ワイズ:

昨年は仕事の上で非常に厳しい年ではあったが、水  
戸在住の日本一の花火師野村陽一さんの力を借りて  
年末に花火の 2021 年カレンダーを作ることができ、  
読売新聞をはじめとしたメディアにも紹介された。  
カレンダーの売上が徐々に上がり、おかげで年末年  
始はたくさんゴルフができた。昨年 11 月に久しぶり  
にハーフをパープレーでまわることができたので、  
また 78 というスコアを出せたので今年はエージシ  
ュートを狙いたい。

大澤ワイズ (連絡主事):

今年は YMCA の「ステップ III」研修に臨む。また茨  
城 YMCA としても、いい意味で宮田総主事からの自  
立を図っていきたい。

宮田ワイズ (総主事):

茨城 YMCA 生活もラストスパート、茨城ワイズに子  
どもワイズを！ 皆さん、そろそろ茨城ワイズに子  
どもが欲しくないですか？ 茨城 YMCA の総主事引  
退の記念に・・・とわがままな総主事が勝手に夢見て  
います。

金子ワイズ (例会不参加のため後日寄稿):

昨年の 10 月 25 日の投開票により、つくば市議会議  
員選挙での 10 期目の当選をいただき、慌ただしく新  
しい年を迎えた。新型コロナウイルス感染症で、日本  
列島が悲鳴を上げている。皆で注意深く元気よく頑  
張ろう。



抱負を述べあった後は、今年の新企画のアイデア  
(干し芋ファンドなど) 出しを行ったり、茨城 YMCA  
の全体職員会の議題について話あったり、また現在茨  
城県南で行っている奉仕活動(とくに筑波大生向けの  
食料支援プロジェクトなど)について情報交換を行いま  
した。最近これまでの例会は 1 時間程度で終わる  
会が多かったのですが、今回は 2 時間近くあれやこ  
れやお話しすることができました。

### 1 月例会 (リモート開催) 出席状況

会員: 6 名 (稲本、大澤、片山、熊谷、村田、柳  
瀬)、メネット: 0 名、スタッフ: 0 名、リーダー:  
0 名、ゲスト: 0 名、出席総数: 6 名、在籍者会員  
数: 9 名、会員出席率: 67%

## 【事務報告】

## 会計報告 (1月15日～2月11日)

前月繰越金	74,537
寄付	36,000
会費入金	20,000
東日本区区費 (後期)	▲62,000
各種献金	▲40,000
メネット献金	▲10,000
北関東リーダー養成募金	▲5,000
次月へ繰越	13,537

ワイズメンのみなさまにおかれましては引き続き  
会費の前納について、ご協力を賜りたく願います。  
(会計 柳瀬)

## 【茨城 YMCA 報告】

## 1月の報告

12/29-3日	年末年始休館
8日	通常授業開始
9-11日	ファミリースキーキャンプ (中止)
9日	Zoom イベント
9日	放課後児童支援員研修
9日	放課後子どもプラン研修
13日	中期計画委員会
15日	主任会
16日	Amazon Future Engineer
18日	職員礼拝/職員会
19日	ステップⅢ研修 (大澤参加)
20日	国際事業部担当者会
20日	国際事業部担当者会
22日	ウェルネス事業部ディレクター会
23日	放課後子どもプラン研修
23日	Amazon Future Engineer
23日	ステップⅢ研修 (大澤参加)
24日	放課後子どもプラン研修
28日	競売物件見学会
29-30日	全国 YMCA アフタースクール部会
30日	放課後児童支援員研修

## 2月の予定

1日	早天祈祷会
2日	ウェルネス事業部担当者会
5日	全国 YMCA 保育事業部会
6日	臨時理事会 (物件見学等)
7日	高学年デイキャンプクラブ「トムソーヤ」
9日	リソースモビリゼーションチームミーティング
10日	中期計画委員会
13日	未就学児デイキャンプクラブ「わんぱくクラブ」

13日	学童保護者会・新入生オリエンテーション
15日	主任会
20日	小学生デイキャンプクラブ「つくわいクラブ」
24日	ピンクシャツデイ
27-28日	冬のオーバーナイトキャンプ (連絡主事 大澤)

## 【編集後記】

わたしは仕事柄、この1年間もそれまでと変わらずいろいろな人と会ってきました。そんななかで先週、数年ぶりにお会いした方は会うやいなや、マスクを着けていることがいかに健康的でないか、いまのコロナ騒ぎがいかに茶番か、ということをつつとわたしに説いてきました。

わたしはそれ自体を否定するつもりは毛頭ありません。なにが正しいか、わたしも本当に分からないからです。その人の言うことを陰謀論だと嘲笑するつもりもありませんし、一方で、マスクを着けて外出し手指の消毒に人一倍気を使う自分自身のことを長いものに巻かれているだというふうにとことさら卑下するつもりもありません。

ただ、自分の考えを他人に押し付けるのは嫌だなあとだけは思いました。また、自分と考えが違うから、もうその人とはつきあわない (もちろん危険が及びそうなときは別ですが) だと判断してしまうのも変な話だな、と思いました。それぞれの人にそれぞれの考えがあっているし、お互いにマイナスの影響が及ばないうちは、それぞれの考えを尊重すれば良いのでしょうか。

Covid-19 は本当にいろいろなことを学ばせてくれます。もちろん流行が収まってくれることを願っていますが、人間社会が真に変わりを求められているのならば、それに気づくまで流行は留まることをしらないのかな、などと素っ頓狂なことを考えてしまったりもします。

(書記 村田)

私の所属教会で先月、牧師が辞任の意向を表明し執事会(役員会)がそれを承認したとの発表がありました。「2022年3月末を以って当教会の牧師を辞任したい」とのことでした。執事会は早速、牧師招聘委員会を組織しました。「1年しかない」なのか「1年もある」のかはまだ分かりません。その後「あと〇ヶ月しかない」となるのか「これで安心」となるのか……。10年ぶりに私たち教会員は、これから不安と期待の1年を過ごすことになりそうです。

(会長 熊谷)